

利用規約

2026年10月11日施行

第1条（目的）

本規約は、株式会社マインドロジック（以下「提供者」といいます。）が提供するサービス（以下「本サービス」といいます。）に関し、提供者、契約者および個別利用者の間で必要な事項を定めることを目的とします。

第2条（用語の定義）

① 本規約で使用する用語の定義は、次のとおりとします。

1. 本サービス：提供者が、個別利用者にLLM（Large Language Model、大規模言語モデル）を活用してLLMと対話もしくはチャットを行わせ、直接チャットボットを作成させ、契約者の組織内でチャットボットを利用させ、または契約者が不特定多数にチャットボットを使用させることができるよう提供するサービスをいいます。
2. チャットボット：自然言語形式の質問に対する回答を行うコンピュータプログラムをいいます。
3. 契約者：自己の事業または活動等に本サービスを活用するため、提供者との間でサービス利用契約を締結した機関または個人をいいます。
4. 個別利用者：機関である契約者に所属する職員等、契約者から加入許可を受けて本サービスを利用する者をいいます。ただし、個人が提供者と直接利用契約を締結した場合（第4条第4項）、契約者と個別利用者は同一であり、この場合にも個別利用者と総称します。この場合、管理者に関する規定（第4条第1項ないし第3項のうち契約者が主体として定められた部分）は適用されません。
5. エンドユーザー：契約者または個別利用者が本サービスを活用して制作し、公開したチャットボットに自然言語による質問を入力し、または音声による質問を行って対話する方法でチャットボットを使用する者をいいます。
6. コンテンツ：契約者、個別利用者またはエンドユーザーが、チャットボットに表示されるよう加工、制作、公開または共有するデータ、映像、図、写真、音声、文字情報等をいいます。
7. クレジット：本サービスの利用量に応じて差し引かれる本サービス内の利用単位であり、本サービスの利用のために購入し、または提供者から付与を受けて使用することができます。

② 本規約で使用する用語の定義は、前項で定めるものを除き、関係法令および一般的な商慣習に従います。

第3条（規約の明示、効力および変更）

- ① 提供者は、本規約の内容を契約者および個別利用者が確認できるよう、本サービスの画面のうち提供者が定める場所に掲載します。
- ② 本規約の効力は、次の各号に定める時点で発生します。
 1. 契約者：提供者とサービス利用契約を締結したとき

2. 機関所属の個別利用者：本規約に同意し、管理者から加入承認を受け、またはアカウントを付与されたとき
 3. 個人が直接加入する場合：本規約に同意し、加入手続を完了したとき
- ③ 提供者は、約款の規制に関する法律（以下「約款規制法」といいます。）、「電子文書及び電子取引基本法」、「電子署名法」、「情報通信網利用促進及び情報保護等に関する法律」（以下「情報通信網法」といいます。）、「電子商取引等における消費者保護に関する法律」（以下「電子商取引法」といいます。）等の関係法令に違反しない範囲で、本規約を改定することができます。
- ④ 提供者が本規約を改定する場合、改定内容および改定理由を明示し、その発効日の少なくとも7日前から発効日の前日まで告知します。ただし、契約者または個別利用者に不利な内容に改定する場合、発効日の30日前から告知または通知します。

第4条（加入申請）

- ① 機関所属の個別利用者は、氏名、電子メールアドレスおよびパスワードを入力することにより加入申請を行い、契約者が指定した管理者（以下「管理者」といいます。）から加入申請の承認を受け、または管理者から個別にもしくは一括してアカウントの付与を受ける方法により、本サービスを利用することができます。
- ② 管理者は、機関所属の個別利用者による加入申請を確認した後、加入申請を承認し、または拒否することができます。提供者は、契約者による個別利用者の加入申請の承認または拒否について、何ら責任を負いません。
- ③ 機関所属の個別利用者が本サービスの利用を開始した後であっても、管理者は、その裁量により、本サービスの利用を停止し、利用量を制限し、または個別利用者のアカウントを削除することができます。
- ④ 個人が直接加入する場合、管理者を置かず、加入手続を完了した時点でサービス利用契約が成立します。この場合、本条第1項ないし第3項の管理者に関する規定は適用されません。
- ⑤ 本サービスへの加入および本サービスの利用は、満14歳以上の場合に限り可能です。提供者は、満14歳未満であることが確認されたアカウントの利用を制限し、または当該アカウントを削除することができます。

第5条（本サービスの内容および提供）

- ① 提供者が契約者および個別利用者に提供する本サービスの内容は、次の各号のとおりとし、必要な場合、これを追加または制限することができます。
1. チャットボット：個別利用者が選択したLLMもしくはチャットボットとの対話、またはチャットボットの知識および推論能力の活用
 2. スタジオ：個別利用者がRAGおよびデータを活用して直接チャットボットを作成
 3. ストア：制作されたチャットボットを公開または使用
- ② 提供者は、年中無休、1日24時間、本サービスを提供することを原則とします。ただし、提供者は、本サービスの障害により、または本サービスの障害の解決、品質の向上、内容の変更等のため、いつでも本サービスの全部または一部を中断することができます。
- ③ 契約者および個別利用者は、提供者が提供する本サービスを通常の方法で操作して利用することができます。機械的な手段を用いて自動的または反復的な方法で行う操作は、上記の「通常の方法」による操作に該当しません。

第6条（試用および評価用アカウント）

- ① 提供者は、機関である契約者による本サービスの導入検討のため、期間および利用量を定めて、テスト、試用または評価用のアカウント（以下「試用アカウント」といいます。）を提供することがで

きます。

- ② 試用アカウントは、契約者による内部での導入検討および評価の目的に限り使用することができ、商用業務、再販売または第三者のためのサービス提供に使用することはできません。
- ③ 契約者は、試用アカウントを契約者に所属しない者に付与し、または共有してはなりません。提供者は、アカウントが適切に利用されているかを確認するため、契約者に対し、実際のアカウント使用者の所属確認を求めることができます。
- ④ 提供者は、試用アカウントの利用期間の満了、利用条件への違反、セキュリティ上の危険、運営上の必要またはその他の合理的な理由がある場合、試用アカウントの提供を中断し、または回収することができます。
- ⑤ 本条および第7条は、試用期間の終了後も引き続き効力を有します。

第7条（契約者および個別利用者の義務）

- ① 契約者および個別利用者は、次の各号に該当する行為を行わないことに同意し、契約者または個別利用者のアカウントを利用できる者にこれらの行為を行わせないことについて全面的な責任を負うことに同意します。
 - 1. 自己のアカウントを他人に利用させ、第三者に提供し、またはアクセス権限を付与する行為
 - 2. リバースエンジニアリング、デコンパイル、逆アセンブルおよびその他一切の加工行為を通じて、本サービスを複製、分解、分析、模倣、修正または変形しようとする行為
 - 3. ソースコード、プロセス、データセットもしくはデータベース、管理ツール、開発ツール、サーバーまたはホスティングサイト等、本サービスの技術基盤にアクセスしようとする行為
 - 4. 本サービスの特徴、機能、グラフィック等を複製しようとする行為
 - 5. 提供者が提供する正常な本サービスの利用方法によらず、異常な方法で本サービスを利用し、またはシステムにアクセスする行為
 - 6. 提供者のネットワーク、エンドユーザーのアカウント、本サービス等を悪用し、妨害し、または営業に支障を与える行為
 - 7. 本サービスに損害を与え、作動不能にし、破壊し、または本サービスの性能に悪影響を及ぼすおそれのあるソフトウェア、コンテンツもしくはコードをアップロードし、または送信する行為
 - 8. 他のサービスおよびシステム等に悪影響を及ぼすおそれのある方法で本サービスを利用しようとする行為
 - 9. 本サービスまたは本サービスの出力物（Output）を、提供者の本サービスと競合する製品、サービスまたは人工知能モデルの開発、修正、微調整（fine-tuning）、蒸留（distillation）もしくは改善に利用し、またはそのためにアクセスする行為
 - 10. 本サービスの出力物またはこれから派生したデータを、機械学習モデル、ニューラルネットワークまたは人工知能システムの学習、微調整もしくは蒸留に利用する行為。ただし、次の各目のいずれかに該当する場合を除きます。
 - イ. 契約者が自己の入力値のみを用いて生成し、または学習させたモデル
 - ロ. 提供者が事前に書面で承認した場合
 - 11. 本サービスのシステムプロンプト、プロンプトテンプレート、エージェント構成、モデルルーティングおよびクレジット算定ロジック等、非公開の内部指示または設定を露出もしくは抽出し、または技術的措置を迂回して確認しようとする行為
 - 12. ボット、クローラー、スパイダー、データマイニングツール等の自動化された手段を用いて、本サービスの出力物もしくはデータを収集、抽出もしくは複製する行為、または本サービスを他のサービス、ウェブサイトもしくはデータベースへの入力として使用する行為。ただし、提供者が公式に提供し、または事前に承認したAPIもしくは連携機能の利用を除きます。

13. プロンプトインジェクション、脱獄（jailbreaking）等の方法により、提供者が適用したコンテンツフィルター、安全装置またはポリシー上もしくは技術上の制限を迂回し、または無力化しようとする行為
 14. 本サービスの画面構成、機能の流れ、プロンプト、価格もしくはクレジット体系等の公開されていない情報を、提供者の事前の書面による同意なく第三者に提供し、または公表する行為
 15. その他、法令または本規約に違反する行為
- ② 提供者は、本条に掲げる義務に違反した、または違反する可能性があると判断される契約者もしくは個別利用者の行為について調査することができ、提供者の裁量により適切な措置を講じることができます。これらの措置には、警告、コンテンツの削除、アカウントもしくはプロフィールの削除、当該契約者もしくは個別利用者に提供した特典の一部もしくは全部の回収、本サービスの一部もしくは全部の利用制限、利用契約の解除、関係行政機関への通報等の措置が含まれ、契約者または個別利用者の行為により損害が発生した場合、損害賠償を請求することができます。

第8条（有料サービスおよびクレジットの利用）

- ① 契約者または個別利用者は、提供者が定める決済手段によりクレジットを購入することができ、決済が完了した時点で購入契約が成立します。
- ② 購入クレジットの有効期間、使用順序、申込みの撤回および返金に関する詳細は、決済前に提供される「クレジット購入および返金ポリシー」に従います。
- ③ 満19歳未満の契約者が法定代理人の同意なく決済した場合、関係法令に従い契約を取り消すことができます。契約が取り消された場合、返金は関係法令および本規約に従って処理され、すでに提供された本サービスがある場合には、関係法令が認める範囲で利用分が精算されることがあります。
- ④ 本規約と「クレジット購入および返金ポリシー」の内容が異なる場合、契約者または個別利用者に有利な内容を優先して適用します。

第9条（コンテンツの保護および収集）

- ① 契約者または個別利用者は、コンテンツに関する知的財産権を適法に確保して使用し、または提供しなければならない、第三者の適法な権利（知的財産権、名誉権、肖像権、著作権、商標権等を含みますが、これらに限られません。）を侵害してはなりません。
- ② 提供者は、個別利用者またはエンドユーザーが入力した内容を、事前の同意なくLLMの学習に利用することはできません。
- ③ 契約者または個別利用者が第三者の個人情報を入力する場合、当該個人情報について適法な収集および利用の根拠を確保しなければならない、これに違反して生じた紛争または損害について、提供者は、提供者の故意による違法行為の場合を除き、責任を負いません。
- ④ 契約者または個別利用者が本サービスを通じて生成した出力物について、提供者は権利を主張せず、出力物を利用する権限は契約者または個別利用者に帰属します。
- ⑤ ただし、出力物はAIが生成したものであるため、著作権法上の保護範囲が制限されることがあり、同一または類似の出力物が他の契約者にも生成されることがあります。提供者の故意による違法行為の場合を除き、出力物の利用に伴う責任は契約者または個別利用者が負い、契約者または個別利用者は、出力物の利用（商業的利用を含みます。）に先立ち、第三者の権利を侵害するか否かを自ら確認しなければなりません。
- ⑥ 出力物の利用には、当該出力物を生成したAIモデル提供会社の利用ポリシーも併せて適用されます。

第10条（プライバシーポリシー）

- ① 提供者は、関係法令の定めるところに従い、契約者または個別利用者の個人情報を保護するために

努め、個人情報の保護および利用については、関係法令および提供者のプライバシーポリシーに従います。

- ② 契約者および個別利用者は、チャットボットのエンドユーザーの個人情報の保護および管理に関するプライバシーポリシーを、エンドユーザーが確認できるよう、ウェブサイトまたはサービスアプリケーション等を通じて告知し、契約者または個別利用者がチャットボットのエンドユーザーの個人情報を同意なく目的外に利用し、または第三者に提供する場合、提供者は一切の責任を負いません。

第11条（保証の排除）

- ① 提供者は、本サービスの正確性および無瑕疵性を保証しません。
- ② 提供者は、本サービスの品質、特定目的への適合性、適時性および成果を保証せず、また、本サービスがエンドユーザーの要求をすべて満たし、中断またはエラーなく作動することを保証しません。
- ③ 契約者または個別利用者は、契約者の危険負担の下で本サービスを利用しなければならず、本サービスが明示または黙示の保証なく、現状有姿ですべての欠陥を伴って提供されることに同意します。

第12条（提供者の免責）

提供者は、次の事項から生じる損害について責任を負いません。

1. 天災地変またはこれに準ずる不可抗力により、本サービスを提供できない場合
2. 本サービス用設備の保守、交換、定期点検、工事その他これらに準ずる事由により生じた損害
3. 契約者、個別利用者またはエンドユーザーの責めに帰すべき事由による本サービスの利用障害
4. LLMもしくはチャットボットの発言内容の不正確性による損害、またはエンドユーザーがLLMもしくはチャットボットの発言内容を受け入れて行動したことにより生じた損害
5. 契約者または個別利用者が第7条ないし第9条の義務に違反したことにより生じた損害
6. サーバーに対する第三者の一切の違法なアクセスまたはサーバーの違法な利用から生じる損害
7. サーバーへの送信またはサーバーからの送信に対する第三者の一切の違法な妨害または中断行為から生じる損害
8. 第三者が本サービスを利用して違法に送信もしくは頒布し、または送信もしくは頒布されるようにした一切のウイルス、スパイウェアおよびその他の悪意あるプログラムによる損害
9. 送信されたデータのエラー、省略、欠落、破壊等により生じる損害
10. その他、提供者に故意または重大な過失のない行為による損害

第13条（準拠法および管轄）

- ① 本規約は、大韓民国の法律に準拠し、これに従って解釈されます。
- ② 提供者と契約者との間または提供者と個別利用者との間に生じた紛争について訴訟が提起された場合、ソウル中央地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。ただし、契約者または個別利用者が「約款の規制に関する法律」上の消費者に該当する場合、民事訴訟法が定める管轄裁判所に従います。

[正本]

本書は、韓国語原本の日本語訳です。本訳文と韓国語原本との間に相違がある場合は、韓国語原本が優先します。

[改定履歴]

本規約の改定履歴および過去のバージョンは、以下からご確認いただけます。

改定履歴 : <https://factchat-public.s3.ap-northeast-2.amazonaws.com/public/legal/mindlogic-terms-privacy-revision-history.html>